

広報
[なか]

NAKA

2024 秋号 VOL.186

公益社団法人 名古屋中法人会





富士税務署屋上からの富士山、東部浄化センターからの東海道新幹線と富士山 P/H.K



NAKA

広報「なか」
2024 秋号
目次

DIARY.....	1	《ものづくり愛知の至宝》.....	21
署長インタビュー.....	2	格子に藤縞模様片身替厚板	
名古屋中税務署長 栢原 弘行 氏		《お時間拝借》.....	22
表紙の人.....	6	川村屋本舗 新井 澄子 氏（六代目）	
テノール歌手 秋川 雅史 氏		新井 みほ 氏（七代目）	
《うちのおやじ》.....	8	《秋の和菓子》.....	25
(株) モリタ 取締役会長 森田 文二 氏		川村屋本舗	
代表取締役 森田 慶一 氏			
		《NAKAダカラオモシロイ》	
《社長のやる気サポート》		ニコニコランド2024.....	26
景気討論会.....	12	キッズダンスフェスティバル.....	28
日経シンポジウム.....	13	税金ウルトラクイズ.....	29
決算期別税務研修会（7～9月期）.....	14	ビアフェス錦三夏まつり.....	30
やさしい法人税セミナー.....	15	NAKA LIVE JAM.....	31
初心者のための源泉所得税事務研修会.....	16	老松支部・新栄支部.....	32
年末調整時における定額減税事務の留意点研修会		松原支部・栄西支部	
大規模法人税務研修会.....	16	経営研究会 還暦を祝う会.....	33
理事懇談会.....	17	女性理事会・税に関する絵はがき審査.....	34
女性部会理事会.....	18		
支部長会・組織委員会・厚生委員会 合同協議会		《会員サロン》	
第40回 法人会全国大会「鹿児島大会」		住吉の語り部になりたい 深田 正雄 氏.....	36
広報委員会		新しいお仲間です.....	39
名古屋中税務署あいさつ.....	19	《行事メモ》.....	40
《健やかサークル》.....	20		
無花果（いちじく）			



表紙の人

テノール歌手 秋川 雅史（あきかわ まさふみ）

写真提供／公益社団法人名古屋西法人会

DIARY 2024 - 2025

nov. 11

9土~17日

名古屋中税務連絡協議会
「暮らしの中の税金展」税の作品展示
NHK名古屋放送センタービル一階

14木

女性部会 署長講演会
講師：名古屋中税務署長
栢原 弘行 氏
可ん寅 11:00

11月~17日 税を考える週間

11月

新設法人研修会
講師：名古屋中税務署担当官

13水

決算期別研修会(10~12月期)
講師：名古屋中税務署担当官

16土

ミニサッカー大会
ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)

17日

名古屋中税務連絡協議会
「暮らしの中の税金展」表彰式
NHK名古屋放送センタービル一階
11:00

24日

錦三丁目支部事業
「名古屋市養護施設等の児童を
プラネタリウムに招待」
名古屋市科学館

28木

愛知県法人会連合会・税制講演会
講師：神奈川大学特別招聘教授
矢野 康治 氏
演題「わが国の財政について」
～不都合な真実を正視し、打開する
名鉄グランドホテル 14:30

色文字は一般参加の事業

事業内容は変更または中止となる場合があります。

名古屋中法人会ホームページをお確かめのうえお出掛けください。

<http://www.meinaka-hojinkai.or.jp/>

dec. 12

4水

愛知県法人会連合会 運営研究会
名古屋東急ホテル 14:00

10火

青年部会就労支援事業
報告セミナー
中区役所ホール 14:00

jan. 1

17金

青年部会
名古屋中租税教育推進協議会主催
租税教室開催
名古屋市立平和小学校

21火

新春記念講演会・新年賀詞交歓会
講師：名古屋中税務署長
栢原 弘行 氏
会場：KKRホテル名古屋
18:00

29水

市内9法人会合同講演会
講師：高橋 英樹 氏
演題：「歴史はおもしろい！」
Niterra日本特殊陶業市民会館
フォレストホール 13:30

feb. 2

5水

決算期別研修会(1・2月期)
講師：名古屋中税務署 担当官
昭和ビル9Fホール 13:30

13水

正副会長会
昭和ビル9F会議室 15:00

26水

大規模法人経営者講演会
講師：名古屋国税局長
湯下 敦史 氏
マリオットアソシアホテル 15:30

mar. 3

7金

東海法連 三重大会
法人会運営研究発表
ホテル花水木

12水

理事会
昭和ビル9Fホール 15:00

19水

常任理事会
昭和ビル9F会議室 15:00

apr. 4

未定

新入社員研修
昭和ビル9Fホール 10:00

10木

理事会
昭和ビル9Fホール 15:00

コスモス



自信・自覚・タイミング・思いやり・常識 5つの言葉を忘れずに

名古屋中税務署長

栢原 弘行氏



「おかえりなさい」の言葉に感謝

——名古屋中税務署の法人一統括を2年。さらに、総務課長として、名古屋中法人会がたいへんお世話になりました。お身内の間柄ということで、よろしくお願ひします。

着任後に皆さんからご挨拶をいただきましたが、「お久しぶりです」、「変わりませんねえ」という言葉とともに、「おかえりなさい」という言葉をいただきました。

あの時から15年経過しているにもかかわらず、皆さんが私のことを覚えていてくれたこと、また、当時と同じように接していただいたことに大変感謝しています。

——赴任されて2ヶ月近くになります。署内の雰囲気は、法人一統括、総務課長当時と比べていかがですか。

当時と変わらず、名古屋中税務署は管内最大の職員数を誇る税務署です。約260人の職員が勤務していますが、その6割が他署の事務も兼任する広域担当者です。全員が顔をそろえることはおそろくないと思いますが、他の署では味わえない雰囲気や仕事がこの署には以前と変わらずたくさんあります。他の署にはない良さも含め、職員の能力が十分に発揮できるよう、楽しく仕事ができる環境を作りたいと思っています。

——栄地区の印象をお聞かせください。

中日ビルや丸栄など、ここ数年で大きな変化がありました。確かに名古屋駅前の開発も目覚ましいものがありますが、やはり名古屋の中心は栄地区であると思います。名古屋駅と競い合う必要はないと思いますが、栄地区の更なる発展、そして大須・新栄・金山など中区全体が元気になることを期待します。

転換期になった「教育官補」

——これまでの勤務地、仕事について思い出に残る出来事をお聞かせください。

これまで40年、この職場でお世話になってきました。そ



の1年1年、勤務した土地や仕事内容にいろんな思い出があり、なかなか選ぶことが難しいのですが、いま、思いつくのは「税務大学校教育官補」、「酒類業調整官」、「高松局」です。

「教育官補」というのは、我々の研修施設である税務大学校において、教育官等を補佐すると同時に、この職場に入ったばかりの職員とともに1年間寝食を共にし、主に社会人としての知識や常識等を身に着けさせる（という言い過ぎかもしれませんが）役割です。新入職員を育てるという点で、非常に責任が重い仕事でしたし、研修生（職員）からは嫌がられる存在でしたが、今考えると、この経験は自分の大きな転換期になった仕事であったと考えています。

二つ目は「酒類業調整官」です。私は、それまで法人課税システムに席を置き、法人税の調査や源泉所得税事務に関する仕事をしてきましたが、この時初めて「酒税」という仕事に携わることになりました。結果として、この異動を機に「酒類システム事務」にどっぷりつかることになりましたが、私はどちらかという、酒税法よりも酒類振興事務に長く携わらせていただきました。皆さんには「酒類振興」といってもなじみがないと思いますが、簡単に言うと「酒類業界全体を盛り上げるための営業担当」という感じで、輸出に向けた取組や国内需要拡大に向けての施策の企画などを担当しました。中でも、思い出深いのは、平成28(2016)年5月に開催された伊勢志摩サミットに関わったことです。サミット会場に行くことはありませんでしたが、この機会をとらえた需要振興策を業界の方と1年近く考えたのは今でも強く心に残っています。

最後は「高松局での勤務」です。令和2(2020)年7月から1年間、高松局愛媛県の伊予西条税務署に勤務しました（2代前の蟹江署長も同じ勤務をしていました。）。私どもの職場に異動はつきもの、もちろん単身赴任も当然ですが、まさか、他局とは思っていなかったの、予告を聞いた時には驚きました。ただ、実際1年間勤務してみて、この経験は体験したものでないとわからないものだ実感しています。残念ながら、当時は新型コロナウイルスによる行動制限があり、法人会を

はじめとする関係民間団体との会合もなく、また、全国的にも有名な西条まつりも中止という状況でしたので、その経験値はこれまでの、また、今年も出向されている皆さんとは数段劣ってしまっているのが残念でなりません。もう一回行くことができれば、最大のパフォーマンスをと思いますが、これはほぼできないので、これからこの経験をぜひ多くの人にさせていただきたいと思っています。

中学校のない朝日町

——ご出身は三重県のどちらですが、少年時代はどのようにお過ごしでしたか。

生まれは、久居市（当時は一志郡久居町。現在は合併により津市久居町）ですが、4歳のころ三重郡朝日町に引っ越しました。現在は、同じ町内ですが実家とは別のところに住んでいます。

朝日町は、今でこそ、商業施設がいくつかでき、人口も1万人を超えましたが、三重県で一番面積の小さな町です。海にも面しておらず、その多くを山に覆われています。私がこの職場に入るころまでは、三重県で唯一「中学校のない市町村」としても有名でした。そんな町ですので、学校から帰ると山に入って遊ぶことが多かったように思います。用水路でザリガニを捕まえたり、草むらで虫を捕まえたり、近所の友達兄弟と道路で野球をしていたことも思い出されます。

——この道を選ばれた経緯をお聞かせください。

「国のために働きたいという思いをもってこの職場を選びました」というとカッコいいかもしれませんが、税務の職場が何をしているところなのかもわからずに同級生数人と試験を受け、今に至っているというのが実際のところで、明確な理由があったような記憶がありません。高校は普通科でしたし、多くの友人は進学しましたが、早く働いてお金を稼ぐほうがいいと思ったことが大きな理由だったような気がします。

——消費税インボイス制度、電子帳簿保存法等、税務を取り巻く環境が厳しさを増しています。職員に対してどのような



取材日時／令和6年8月27日(火) 10:30～11:30 取材場所／名古屋中税務署長室
聞き手／古市晴比彦広報委員長、平木聖三広報副委員長、加藤芳久広報委員、鶴岡一美専務理事

伊勢志摩サミット2016のお酒のボトル

指導・指示をされていますか。

お話のとおり税務を取り巻く環境は大きく変化してきています。周囲の環境だけでなく、我々の組織も内部事務のセンター化などにより、大きく変わろうとしています。しかしながら、我々の使命や任務は変わることはなく、これまでと同様に取り組む必要があります。職員には、改めて国税庁の組織理念を読み返し、いま自分たちは何をすべきかを考えて行動するよう話しています。

——これからの若い職員に向けて、伝えたいことはございますか。女性職員も多くなっています。

異動直後に職員には、「自信をもって仕事に当たること」、「成長したと感じる取り組みをすること」、「何事にもチャレンジすること」を話しました。この中で特に若い職員には「チャレンジすること」に重点を置いてほしいと思っています。環境が変わる今は、大きなチャンス時期だと考えます。若い職員には、これまでに捕らわれない考え方で様々な企画や施策に当たってほしいと思います。また、確かに女性職員は増えましたが、育児等で制限を受ける場面も多くみられます。育児等は女性だけの問題ではありませんが、そのような環境でも、引け目なく取り組める制度が整備されてきています。自分の能力を十分に発揮できるよう取り組んでいただきたいと思えます。

思い出いっぱいの法人会

——法人一統括をされていた頃は、名古屋中法人会の会長が岡田会長から岡谷会長へバトンタッチされ、社会貢献の事業活動が活発になった時期でした。体育の日のスポーツフェスティバルランド（現 名古屋ニコニコランド）、なごやヤングジャズ・フェスティバル（現 キッズダンス・フェスティバル）、青年部会創立30周年では合唱団の一員として一緒に「明日があるさ」を歌っていただきました。思い出はいかがでしょうか。

よく考えたら、もう15年も前の話になるのかと、改めてしみじみ思っています。スポーツフェスティバルランドでイタ君の着ぐるみを一日着ていたことや、ヤングジャズフェスティバルを見て、「トランペットかっこいいなあ」などと思ったりしたことをはじめ、総会や研修会で越えしになられ

た著名な方（高須クリニックの高須院長や相撲解説の杉山邦博さん、からくり人形の玉屋庄兵衛さんなど）とお話できたりしたことが印象に残っています。そのほか、口を開くたびに「e-Tax」と言い続けた理事会や、女性部会での税務研修会、そしてお話のあった青年部会30周年記念行事など、あの時のことを話すだけで何日もかかるくらい多くの思い出でいっぱいです。

今回、このような形で再び皆さんとお会いすることになりましたが、この話以上に多くの思い出や経験を積ませていただければありがたいと思っております。法人会の主担当は、もちろん法人一統括ではありますが、ぜひお声がけいただければと思います。

記念に残るもの収集

——健康法、ご趣味をお聞かせください。

特にこれといった特別な健康法はありませんが、ここ数年は万歩計を付け、1日1万歩を目標にしています。といっても、通勤に6000歩ほどかかりますので、残る4000歩をいかにして歩くかが勝負になっています。休日は、誰もいなくなった実家の草刈りや室内の手入れなどで歩数を稼いでいる状況です。

趣味についても自慢できるものはなく、いろんなことに興味をもっているというのが現状です。長続きしているのは「記念に残るもの」の収集でしょうか。この8月で60歳になりました。今年は、これにちなんで「新幹線」や「かっぱえびせん」など60周年のものに興味を持っています。これに関しては、「二度と見れない風景」という意味で写真撮影などにも興味があります。8年ほど前（2016年）に富士税務署に勤務しましたが、その時に刻々と姿を変える富士山に魅了され、毎日写真を撮っていました。それ以来、風景写真にも魅せられています。最近では、川柳とかお酒のキャップを使ったマグネット作りなどにもはまっています。

——大切にされている言葉、座右の銘はございますか。

皆さんがお持ちのような「座右の銘」のようなものはありませんが、この職場に入ってから数年たったころから、次の5つの言葉を忘れずに過ごすようにしています。

1つ目は「自信」。何事も自信をもって行うことが大切であり、最大の武器だと考えます。



さった 颯田峠展望台 2017.06.03

うるい 潤井川堤防 2016.03.18

2つ目は「自覚」。「公務員」、「社会人」、そして、「親」としての自覚を忘れてはいけないと思っています。

3つ目は「タイミング」。「機を逸さない」ことは重要なことであり、それが「波を引き寄せる」ポイントであると信じています。

4つ目は、「思いやり」。相手のことを思うことが、結果として自分の成長等につながると言い聞かせています。

5つ目は「常識」。「天然・おバカキャラ」もいいかもしれませんが、やはり人として恥じることのない程度の常識は持っていたいものです。

楽しいお酒の知識を皆さまに

——名古屋中法人会へのご助言をいただければ幸いです。

名古屋中法人会は、税のオピニオンリーダーとして税務行政に深いご理解をいただいておりますとともに、様々な視点で、数多くの事業活動を毎年継続して行っていただいております。その内容は、管内、いや、全国的にもトップクラスであると感じております。着任後も、すでにいくつかの事業が開催されておりますが、いずれの活動においても税知識の普及や納税意識の高揚の啓発に加え、公益法人として地域社会への貢献にも力を注がれており、大変感謝しております。私が法人一統括であった時代とは、社会環境が変化しておりますが、このような活動を継続していただくことは、法人会の存在感を示すものであり、その魅力を発信するものであると思っております。

今後も、会員の皆様が互いに自由な発想で意見を交わせるよう、また、我々とも良好な関係を継続していただくよう、そして、前回とは違いクラフトビールなどお酒の知識も少し増えた点も踏まえ、そのあたりのお話もできればいいなと思っています。1年間よろしく願いいたします。

——ありがとうございます。毎年夏のイベントで「ビアフェス」を開催しています。地元のクラフトビールを取り入れられれば若い人たちが楽しんでくれると思います。酒蔵の見学ツアーや酒税の講演会などで法人会に興味を持ってもらえれば会員が増えそうです。よろしくご指導をお願いします。



■プロフィール

栢原 弘行 (かやはら ひろゆき)

生年月 昭和39年8月

出身地 三重県

職歴

昭和58年4月	名古屋国税局総務部総務課
59年6月	津税務署法人税・源泉所得税部門
63年3月	税務大学校名古屋研修所教育官補
平成3年1月	名古屋国税局総務部総務課主任
21年7月	名古屋中税務署法人課税第一部門統括国税調査官
24年7月	津税務署総務課長
25年7月	名古屋中税務署総務課長
26年7月	名古屋国税局課税第二部酒類業調整官(津派遣)
28年7月	富士税務署筆頭副署長
29年7月	一宮税務署筆頭副署長
30年7月	名古屋国税局課税第二部酒類業調整官
令和2年7月	伊予西条税務署長
3年7月	名古屋国税局課税第二部酒税課長
5年7月	名古屋国税局課税第二部酒類監理官
6年7月	現職

「夢のある人生」

テノール歌手 秋川 雅史氏

講演日時／令和6年9月11日(水) 13:30~15:00

講演会場／Niterrra日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
名古屋市内9法人会合同講演会



『千の風になって』で知られる秋川雅史氏を招いての講演会。「本日は講演会ということでコンサートではありませんので」と断りながらも、講演中『千の風になって』『慕情』『翼をください』の3曲が披露された。

テノール歌手の"生の歌声"はホールに響き渡り、感動の拍手が鳴り止まなかった。中でも、手話を交えた"千の風"は新鮮で、ひとり一人の心に映像が浮かび上がったような雰囲気は初めての体験となった。

田圃が隣り合わせの愛媛県西条市生まれ。世界一流のレコードを聴きテノール歌手の父の指導のもと、地元高校生の音楽コンクールに出場するも二年連続の落選を体験した。落ち込みながらも持ち前のプラス思考で、「自分は父親から譲り受けた未完の楽器ストラディバリウス」と信じて、10年後の28歳で日本クラシック音楽コンクールで最高位を受賞し代表曲「千の風」を手し、念願の紅白出場を果たした。翌年の2007年にはオリコンチャート年間一位を獲得して一躍時の人となった。次の

夢は子どものころ夢見た世界を代表するオペラ歌手の道。6年後オペラ歌手として舞台上立ったときの達成感はすごかったと語った。

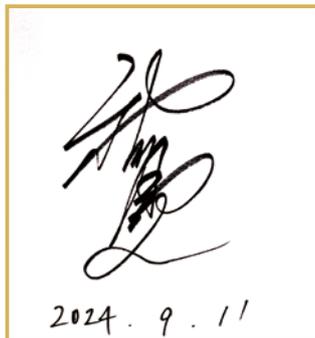
いろいろな経験をして夢を持つことの意味を考えるようになる。クラシックの音楽が溢れている環境で育ち、歌手になり紅白歌合戦に出場しオペラ歌手として舞台上立った。「プレッシャーが大きいほどやり甲斐がある。挑戦し続けなければ生涯幸せな人生が歩めない」と、いつも夢をもった言葉にして、夢を実現させてきた。43歳のとき木彫刻に興味を持ち、令和3年(2021)には二科展で初入選、4年連続で入選を果たしている。

「声は成長し続ける。生涯現役で究極の歌声を追求し、そして日本一の高さ9メートルの仁王像を彫り上げる」ことを、客席を前に公言した。

「未来の自分はどんな成長できるのかを考え挑戦できる人生はステキ」と、聴衆にも新しい世界への挑戦を語りかけた。大きな勇気を胸に"生涯現役"のエールを得ることができた。



Niterrra日本特殊陶業市民会館



※この記事は令和6年9月11日(水)の講演会のレポートです。

文責／公益社団法人名古屋中法人会

■講師プロフィール

テノール歌手 秋川 雅史氏

1967年愛媛県西条市生まれ
4歳よりヴァイオリンとピアノを習う
国立音楽大学大学院にて中村健氏の指導を受けた後、
4年間イタリアのバルマにてデリオ・ポレンギ氏に師事
2005年アルバム「威風堂々」をリリース
そのアルバムに収録された楽曲「千の風になって」が話題を呼び翌年シングルカット
2006年第57回NHK紅白歌合戦に初出場
2007年「千の風になって」クラシック歌手として史上初の
オリコンシングルチャート1位 同年年間オリコンチャート1位
2008年日本レコード大賞特別賞
2014年新国立劇場オペラハウスにて「オペラカルメン全幕」ドン・ホセ役に初挑戦
2021年第105回「二科展」彫刻部門において「木彫楠公像」初入選
その後、4年連続入選 現在、歌手と彫刻家の二刀流で活躍
YouTube 秋川親子3代テノール共演「千の風になって」「忘れな草」
秋川風雅(19歳) 雅史(56歳) 暢宏(86歳)



圧倒的な声量で唄い上げる「千の風になって」 マイクなしの秋川氏。



受付
フォレストホール ロビー



手話 川本 明彦氏



次回 名古屋市9法人会合同講演会のお知らせ

歴史はおもしろい
～歴史上の人物を演じた視点から～

俳優 高橋 英樹氏

令和7年1月29日(水) 13:30～15:00
Niterra日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

事前申込は不要です。
同封の案内状にご記入の上、会場へお越しください。

